

## 検診情報

問合先 健康推進課

### 【肝炎ウイルス】

**対象** 過去に肝炎ウイルス検診に相当する検診を受けたことがなく、今年度40歳以上になる男女

**検診内容** 問診、血液検査

**場所・申込** 指定医療機関（ホームページ参照）へ直接

※受診無料

### 【歯周疾患】

**対象** 40・50・60・70歳の男女

**検診内容** 問診、口腔内診査とその結果に基づくアドバイス

**場所・申込** 指定医療機関（ホームページ参照）へ直接

※受診無料

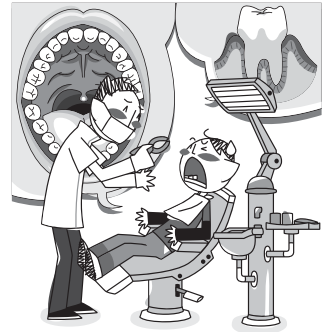
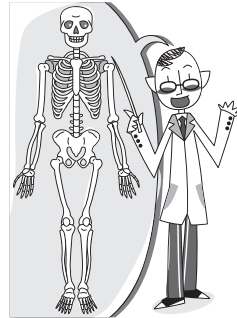
### 【骨粗しょう症】

**対象** 40・45・50・55・60・65・70歳の女性

**検診内容** 問診、エックス線による骨量の測定

**自己負担金** 500円

**場所・申込** りんくう総合医療センター（☎469-3111）



## 地域の医療連携の中核を担う

### りんくう総合医療センター

問合先 地域医療連携室（☎469-3111 Fax469-7929）

りんくう総合医療センターは市立貝塚病院と機能を分担して泉州地域に高度な医療を提供するために「泉州広域母子医療センター」という名前でも運営しています。その中でも当院は特に産や産婦人科救急に関しては全国的に注目される施設です。たとえば、産後の出血が止まらないとか婦人科疾患による腹痛など、緊急の処置・手術が必要な場合もすぐに対応出来るようになっていきますし、早産や持病のある妊婦さんも含めて大阪府下でトップ5の受け入れ実績があります。

お産は病気ではないのですが、何も問題のなかったお産が急に命に関わる状態になってしまうことがあります。最近話題になっている産科麻酔の合併症もそうですし、250人に1人の割合で大出血がおこったりします。持病があるなしに関係なく、「すべてのお産は奇跡」を合い言葉に何かあってもすぐに対応出来るようにしていますので正常妊娠の方も安心して受診してください。それだけでなく今は面会制限もありませんし、某有名ホテルの元シェフが考案したお食事や祝い膳も楽しんでいただき、お土産には泉佐野が誇る「泉州こだわりのタオル」のオリジナルポンチョを用意しています。

最後になりますが10月からTBS（毎日放送）でドラマ「コウノドリ2」が始まっています。当院はそのモデル病院の1つです。ぜひご覧ください。また、来院されましたら2階に綾野剛さんや星野源さんの寄せ書きがあるので併せてご覧ください！



**産婦人科**  
周産期センター産科医療センター長兼  
産婦人科部長 荻田和秀



当院には6人の管理栄養士が在籍し、入院と外来の栄養管理を行っています。栄養管理とは、入院給食献立の管理から栄養計画の作成、栄養指導、教室（糖尿病・腎臓病）の回診とカンファレンス、保健指導と幅広い内容になっています。病棟担当の栄養士が食事についての相談も行っています。

栄養状態の低下した患者さんに対しては、医師や薬剤師・看護師・栄養士・言語聴覚士で栄養専門のチーム（NST）を構成、その中の専従を担当し毎週のカンファレンスや回診で病状に合わせた栄養計画の提案を行い、患者さんに対して栄養治療計画の説明を毎週行っています。栄養指導は糖尿病や腎臓病、心臓病、肝臓病、術後食などの治療食について入院と外来で実施し、患者さんの状況に合わせて継続して指導を受けていただくことも可能です。糖尿病の教育入院（2週間）の場合は、入院中に糖尿病教室に参加していただき、また2回の栄養指導を行い個人の生活環境に合わせた栄養指導を行っています。

入院給食は治療食を含め41種類の献立を実施し各疾患に対応した献立となっています。一般食（米飯食）については季節のイベントメニューや調理師がおすすめするメニューを毎月実施し患者さんに喜んでいただけるよう栄養士、調理師が協力し食事を提供しています。昨年リニューアルした妊産婦食は妊婦さんに大変高評価なご意見をいただいています。

最後に、栄養指導については地域の開業医先生からも予約していただける体制をとっていますので栄養指導を受けたいという方がおられましたらかかりつけ医の先生にご相談ください。

**栄養管理科**  
主査 住井諭美



# けんこう

## 40～74歳の国民健康保険加入のみなさんへ

特定健診は生活習慣病の早期発見だけでなく、治療している人も重症化予防のために受けることができます。主治医にご相談ください。

### 受診期間

- ①医療機関で受診する場合…来年3月末まで
- ②健診センターで受診する場合…来年2月16日(金)・18日(日)・19日(月)・21日(水)

### 申込

- ①直接、特定健診医療機関（送付する受診券に同封のパンフレットに掲載）へ
  - ②11月17日(金)～来年1月19日(金)（日曜日、祝日、12月29日～来年1月3日除く）の午前8時30分～午後7時に☎0120-611-007（聴覚障害者用Fax072-800-7152）へ
- ※いずれも受診券が必要です。受診券がない人は問い合わせてください。

### 問合せ先

- 受診券などに関すること…国保年金課
- 健診内容に関すること…健康推進課



### 特定健診について

元気で自覚症状がなく活動的に活躍している人の中にも、ご本人が知らないまま病気におかされている人（動脈硬化新幹線に乗っている人）が沢山いらっしゃいます。高血圧症や脂質異常症、一部の糖尿病などは自覚症状がないまま体を蝕んでゆく病気で、ご本人が気付かないうちに血管を傷めて動脈硬化が進んでゆき急性心筋梗塞や脳梗塞、脳出血などの重篤な病気を引き起こします。

みなさんご承知かと思いますが、日本人の死因の第1位は癌にまつわる死亡です。第2位は心臓の病気に、第4位は脳血管疾患（脳卒中）にまつわる死亡で、両者を合わせると癌による死亡に迫ります。心臓の血管が細くなったり詰まったりして起こるのが狭心症や心筋梗塞などの心臓の病気で、一方脳血管疾患のうち脳の血管が詰まる病気が脳梗塞で、脳の血管が破れる病気が脳出血です。これらの心臓の病気と脳の病気はその症状は全く違いますが、心臓や脳を養う血管が機能不全に陥り発症するという点において、その病気の原因は全く共通しています。両者とも動脈硬化症の終着駅の病気と考えられます。

内臓脂肪の蓄積を背景に高血圧や脂質異常症、糖尿病などが併発している状態をメタボリックシンドロームといい、この状態は高血圧や脂質異常症などが単独に存在しているよりも動脈硬化が進行しやすい状態です。今の日本は豊かで便利な国で、栄養満点の食生活や運動不足の生活環境のためにメタボリックシンドロームに陥っている人（動脈硬化新幹線グリーン席に座っている人）が沢山いらっしゃいます。

特定健診は、自覚症状がなくこれらの病態に陥ってしまった人（早期に発見して、生活習慣の改善などで解決を図るために2008年4月から導入された健康診断です。泉佐野市の特定健診は、市の苦しい財政事情にもかかわらず国が定めた基本項目以外に、貧血検査・腎機能検査・心電図・詳細な問診などが追加された内容豊かなものです。特定健診を受診することでこれまで述べてきた高血圧、脂質異常症、糖尿病、メタボリックシンドローム以外にも心房細動などの不整脈や腎機能障害、貧血症、肝臓疾患など様々な病気の発見に役立ちます。

現在の特定健診の受診率はまだまだ胸を張れるほど高くありません。40～74歳の国民健康保険加入者はどなたでも、ご近所の医療機関を利用して受診できます。健康に興味のある人もそうでない人も、健康に自信のある人もそうでない人もぜひお近くの医療機関で特定健診を受けていただき、ご自身の体の状態を知り、もし動脈硬化新幹線の乗客になっているなら早くそこから降り、ゆっくりと生きて健康長寿を楽しみましょう。

泉佐野泉南医師会 副会長

小笠原医院 院長 小笠原秀則